

Dear Mr Eugeny Rychkov, Head of Murom district
Russia 602256, Vladimirskaaya obl, Murom, 1100-year square, 1.

ムーロム市長殿
ニジェゴロド原子力発電所建設予定立地場所

親愛なる ムーロム市長殿

私は井戸川克隆と申します。福島第一原子力発電所の事故が発生し、放射線による大災害が起きた当時、第一原子力発電所の最も近くの町である双葉町の町長をしておりました。私がムーロムの市長である貴殿に手紙を送っているのは、ムーロム市が建設予定されているニジェゴロド原子力発電所に最も近い町であり、そこに住む住民に対して私と同じ義務と責任を貴殿が負っていると判断したためです。

貴殿に私と同じ過ちを起こさないようにご忠告申し上げたいと存じます。私は今でも非常に悔やまれてなりません。

2005年に、私は東京電力株式会社(TEPCO)がすでに発電所を建設していた双葉町の町長に就任いたしました。当時私は、原子力産業が謳っていた「原子力発電所は非常に上手く機能するもので、町に幸せと繁栄をもたらすものだ」というビジョンと主張に多大な信頼を寄せていました。

今やこのビジョンが偽りだったことは明白です。2011年3月11日に恐ろしい大災害が福島第一原発の第1原子炉で発生しました。その後、3基の原子炉が爆発し、4つの使用済み核燃料プールにおいて放射線事故が続いて起きました。双葉町の放射線レベルはそれ以来、途方もない勢いで上昇しました。私のオフィスの窓際にある放射線測定器は、測定不能の数値を示しました。電力会社からも、政府からも、今後の政策について何の情報も提供されなかったため、私は双葉町の住民を避難させるという決断を下しました。私は、建設予定されているニジェゴロド原子力発電所で放射線事故が発生し、貴殿がムーロムから住民に避難を迫るような立場になって欲しくありません。

双葉町の住民は私も含めて、放射線の大惨事のために町を去らなければなりませんでした。私たちは強制退去させられ、見捨てられたのです。

私の失敗を貴殿に繰り返して欲しくはありません！原子力産業に貴市の将来や貴国の将来、そして国民の生命や健康を脅かすようなことをさせないでください。

日本には2度あることは3度あるという格言があります。3つの深刻な放射線事故がすでに起きています。スリーマイル島原発(1979年、米国)、チェルノブイリ原発(1986年、旧ソ連のウクライナ)、そして福島第一原発(2011年、日本)です。我々の使命はこれ以上の大災害が起きることを止めることであり、これを必ず達成しなければなりません。

今度の事故で、日本の東半分では、放射能汚染であらゆる生物は、事故前の健康な遺伝子を持つことが非常に困難になりました。今私は、これから何処に住もうかと、世界地図を見ると北半球には希望も夢も持つことが出来ません。この様な危険な核物質の利用は止めなければなりません、地球には、汚染物質の浄化能力はもう有りません。私達の責任で、核の不安を残さないようにして、子供達に明るい未来を残しましょう。

原子力エネルギーにNO と言ってください。貴市の、貴国の、世界の核の無い将来のために戦いましょう。核廃棄物を産まない将来、原子力事故や大災害の起きる余地の無い将来のために戦いましょう。

敬具

井戸川克隆

日本国 福島県 双葉郡 双葉町
井戸川克隆

Dear Mr Sergey Gavrilov, Head of the city Navashino.
Russia 607102, Nizhegorodskaya obl. Navashinsky r-n, Navashino, Lenin square 7.

ナヴァシノ市長殿
ニジェゴロド原子力発電所建設予定立地場所

親愛なる ナヴァシノ市長殿

私は井戸川克隆と申します。福島第一原子力発電所の事故が発生し、放射線による大災害が起きた当時、第一原子力発電所の最も近くの町である双葉町の町長をしておりました。私がナヴァシノの市長である貴殿に手紙を送っているのは、ナヴァシノ市が建設予定のニジェゴロド原子力発電所に最も近い町であり、そこに住む住民に対して私と同じ義務と責任を貴殿が負っていると判断したためです。

貴殿に私と同じ過ちを起こさないようにご忠告申し上げたいと存じます。私は今でも非常に悔やまれてなりません。

2005年に、私は東京電力株式会社(TEPCO)がすでに発電所を建設していた双葉町の町長に就任いたしました。当時私は、原子力産業が謳っていた「原子力発電所は非常に上手く機能するもので、町に幸せと繁栄をもたらすものだ」というビジョンと主張に多大な信頼を寄せていました。

今やこのビジョンが偽りだったことは明白です。2011年3月11日に恐ろしい大災害が福島第一原発の第1原子炉で発生しました。その後、3基の原子炉が爆発し、4つの使用済み核燃料プールにおいて放射線事故が続いて起きました。双葉町の放射線レベルはそれ以来、途方もない勢いで上昇しました。私のオフィスの窓際にある放射線測定器は、測定不能の数値を示しました。電力会社からも、政府からも、今後の政策について何の情報も提供されなかったため、私は双葉町の住民を避難させるという決断を下しました。私は、建設予定されているニジェゴロド原子力発電所で放射線事故が発生し、貴殿がナヴァシノから住民に避難を迫るような立場になって欲しくありません。

双葉町の住民は私も含めて、放射線の大惨事のために町を去らなければなりませんでした。私たちは強制退去させられ、見捨てられたのです。

私の失敗を貴殿に繰り返して欲しくはありません！原子力産業に貴市の将来や貴国の将来、そして国民の生命や健康を脅かすようなことをさせないでください。

日本には2度あることは3度あるという格言があります。3つの深刻な放射線事故がすでに起きています。スリーマイル島原発(1979年、米国)、チェルノブイリ原発(1986年、旧ソ連のウクライナ)、そして福島第一原発(2011年、日本)です。我々の使命はこれ以上の大災害が起きることを止めることであり、これを必ず達成しなければなりません。

今度の事故で、日本の東半分では、放射能汚染であらゆる生物は、事故前の健康な遺伝子を持つことが非常に困難になりました。今私は、これから何処に住もうかと、世界地図を見ると北半球には希望も夢も持つことが出来ません。この様な危険な核物質の利用は止めなければなりません、地球には、汚染物質の浄化能力はもう有りません。私達の責任で、核の不安を残さないようにして、子供達に明るい未来を残しましょう。

原子力エネルギーにNO と言ってください。貴市の、貴国の、世界の核の無い将来のために戦いましょう。核廃棄物を産まない将来、原子力事故や大災害の起きる余地の無い将来のために戦いましょう。

敬具

井戸川克隆

日本国福島県双葉郡双葉町
井戸川克隆